

スマートライアルツアー感想

仲松美涼

(1日目)

体が不自由になる体験をしてとても驚きました。私のおじいちゃんは足をけががして、いつも足を引きずって歩いています。いつもおじいちゃんは歩きにくそうで大変そうだと思ってはいたけど、こんなに大変だとは思っていませんでした。人の痛みは実際に体験しないとわからないということが分かりました。その他には、体の不自由な人を助けるときの具体的な話を聞けたので、とても勉強になりました。自分あたり前にできることでも、それができない人がいるということを理解することができてよかったです。

(2日目)

私はボランティアの体験をするのは初めてで、今まで障害者の人たちともあまり関わりがなかったので、最初はとても不安でした。でも子どもたちはみんなとても明るくて笑顔だったので私も一緒になって楽しむことができました。みんなどこかに障害があるといっても、健康な人たちと全く同じでとてもかわいかったです。それなのにエレベーターやスロープがないせいで他の人たちと同じことができなくなると思うととても悲しいです。これからどんどん社会が整備されていって、障害者の人たちを助ける人もたくさん増えていってほしいと思いました。

儀保あすか

(1日目)

今日1日でたくさんのことを学びました。高齢者・障がい者の事、車いすの安全な使い方等、授業でまだ学んだことがないことを学べて予習になりました。高齢者疑似体験でわかいことがどんだけすばらしいかあらためて感じ、児童デイサービス「そら」の見学では小さい子から大きい子までいて最初はとまどっていましたがだんだんなれてきて、明日が楽しみです。

(2日目)

この2日間「福祉」のことを考えさせられる2日間になりました。スマートライアルで一番学んだことは、「相手の気持ちになって考え行動する」ことが大事なんだとおもいました。このことを忘れずにふだんから心がけたいです。また児童デイサービスで働いてみたいなと思いました。2日間本当にありがとうございました。

津嘉山歩

(1日目)

今日、人生で初めて本格的な福祉体験をしました。いまでは学校で行われる車いす体験や講演会だけでしたが、今回のような本格的な疑似体験や車いす体験、講習や子どもたちとのふれあいは想像以上に楽しく、充実した1日になりました。以前までは福祉の講習と聞くと、専門用語がたくさん出てきて理解しがたい内容だと思っていましたが実際に親川さんの講習を受けてみると、私たちにも分かりやすいように噛み砕いて説明してくださったので福祉についての興味が深まり、大学でさらに深く学びたいと改

めて思いました。今まで推薦入試の事を考えすぎて精神的に参っていましたが今日 1 日とても楽しかったので、モチベーションも高まり絶対に助産師になるという気持ちも強くなりました。明日の動物園、他の誰よりも楽しみにしています！！

(2 日目)

昨日と今日の2日間言っても言い足りないほどとっても楽しかったです。初日は主に、しょうがい者や老人の方々とどう接するかなどについて学びましたが、2日目は丸1日子どもたちと行動することが出来、本当に多くの事を教えてもらいました。初めは私本人も少し緊張していたので、パートナーの子に話しかけてもそれが伝わってしまったせいか、あまり笑顔を返してくれませんでした。でも時間が経つにつれて段々と向こうからも話しかけてくれるようになり、最後には友だちになることが出来ました。私が緊張してしまうと、何らかの方法でそれが相手に伝わってしまい打ち解けるのに少し時間がかかってしまうので、今後人と接するときは相手に心を開いてリラックスした状態で話しかけるようにしたいです。今回のトライアルツアーは、本当に良い経験になりました。貴重な経験をさせていただいて本当にありがとうございました。

宮城志帆

(1 日目)

目が見えなくて困ることや車いすで困ることなどを考えたときに、私が思いつかないこたえもたくさんあって、なるほどと思いました。そして疑似体験をしたときは、目も見える範囲が小さくて耳もきこえにくくて、歩くのも大変でぶつかりそうになるので、怖かったです。きき手側がまひひている設定だったので、ごはんもたべにくくて時間がかかりました。その時に人に食べさせてもらうこともして、まっすぐ口に入れるのが一番食べやすいと分かりました。上向きで食べるときかったです。車いすでは押す人が普通に歩いても速いなと感じました。思っているより車いすはこわかったので、ちゃんと声をかけることは大切だと分かりました。そして「そら」に行って子どもたちとおやつをして遊びました。とっても元気でいい子達でかわいかったです。素直で質問したら答えてくれたのでうれしかったです。明日もとても楽しみです。

(2 日目)

今日はそらのこども達と一緒にこどもの国に行きました。私はMちゃんとペアになりました。初めは恥ずかしがっているのかちゃんと手をつないでくれなかったり色んな所に行くのであせっていたけど、ぐずっている時は一緒に隣にいて話したりすると、いいよ！と言われたので、まずはMちゃんと仲良くなろうと思って一緒に行動していると、だんだんおしゃべりしたり笑ってくれて手もつないでくれて、とてもうれしかったです。そして最後にさよならをするときには「ありがとうまた来てね」と言われて、とってもとってもうれしかったです。そして同じグループだった、TちゃんとKくんともたのしくまわられてよかったです。またYさんが車いすが困ることを教えてくれたり、楽しみながらも勉強になりました。そらの子どもたちはみんな明るくて面白い子がたくさんいたので本当に楽しくて遠足が終わるのがあっという間でした。2日間たくさんの事を学んだのでこれからいかしていきます。サマートライアルツアーに参加して本当に良かったです。ありがとうございます。

伊集茜

(1日目)

今日1日は福祉についての発見があったりと学びの多い1日でした。親川さんのおもしろくて分かりやすい講演や疑似体験では気づかされる事が多かったです。親川さんの講演の中で私が印象に残っている言葉は「弱い所を理解する」というキーワードです。困っている人の弱い所がしっかりわかっていないとおその人を助けられないからだなと感じました。また疑似体験では普段できない体験ができ身を持ってお年寄りの大変さを知ることができました。午後の「そら」見学ではすごくドキドキしたけど元気いっぱい走りまわる子供達をみたりおしゃべりしたりすると、緊張もとけ、もっと仲よくなりたい!!という気持ちが強くなりました。明日は子ども達といっぱい遊んで、仲良くなりたいです。

(2日目)

今日の子供達との遠足は、とても充実した時間でした。最初はちゃんとできるか心配だったけど、子供達と手をつないだり、おしゃべりしたりしていると緊張もほぐれて、自然に子供達と動物園を楽しむことができました。この2日間の講座は私にたくさんの気づきと学びを与えてくれました。福祉のお仕事は体力をつかったり気を張っていないといけないので、大変だなと感じました。でも子供達の“ありがとう”という笑顔を見るとこっちまで嬉しくなって、もっとがんばろうという気持ちになりました。私はこの2日間の体験を将来や日常生活に生かし、誰かのために何ができるのだろうと考え、行動し、相手を思いやる気持ちを忘れないようにしたいです。

知花ゆい

(1日目)

親川さんの講話では、目の見えない人、耳の聴こえない、車いすの人の困ることを意見を出しあって、どんな気持ちなのかを考えることができた。これから目の見えない人とかに会うことがあったら相手の気持ちを考えてお手伝いしたいと思った。また高齢者の疑似体験はとても大変でした。食事をするにもいつもの倍くらいの時間がかかって、歩くのも大変でした。児童デイサービスの見学は子どもたちが話しかけてくれたので楽しく過ごすことができました。明日は子どもたちと仲良くなって、楽しく過ごせるようにしたいです。

(2日目)

1日目の親川の講話では、実際に疑似体験や高齢者体験をすることで、目や耳の不自由な方や車いすの方、高齢者の気持ちを相手の立場になって考えることができました。また、児童デイサービスそらの見学では、子どもたちが話しかけてくれたので楽しく過ごせました。2日目の今日は、最初は担当の子と仲よくなれるかな、と心配していたけど、すぐ慣れてくれて手をつないでいろんな動物たちを見たり、一緒にお昼ご飯を食べたりして仲よくなれたので本当によかったです。ワンダーミュージアムもとても楽しそうで一緒に行くことができよかったです。本当に楽しかったので子どもたちのところに遊びにいきたいな、と思いました。この福祉体験講座で学んだことを将来に活かしたいです。2日間ありがとうございました。

佐次田梨帆

(1日目)

高齢になったら今まで見えてたものが見えなくなったり、麻痺してるところは動かせないので不便になる事が多いんだなと思いました。車いす体験では親川さんが危ない例を見せてくれて良い参考になりました。最後に児童デイサービスに行かせてもらいました。そこにいた児童さ達はみんな元気でとてもにぎやかでした。楽しかったです。明日はその子達とこどもの国へ行くのでとても楽しみです。

(2日目)

障害者や高齢者は生活していて不便なことが多いんだと思いました。だからそんな人達の手助けをしていけたらいいなと思いました。手助けをするときもその人のことをしっかり考えて行動できるようにしたいです。

宮里涼香

(1日目)

今日いろいろな体験をすることができました。疑似体験では、お年寄りや障がい者の体験をし、不自由なことや大変なことがわかりました。おじいちゃん、おばあちゃん達は目が見えにくく、毎日こんな生活をしていることがわかりました。車イス体験では、おしている人が思っている以上乗ってる人はこわいこともわかりました。介護をする時は声かけ・笑顔・人の気持ちを感じながら介護していきたいです。今日学んだことはふだんの生活や将来に役立てるようにしたいです!!!

(2日目)

2日間サマートライアルツアーに参加していろいろなことを学ぶことができました。1日目の疑似体験では、お年寄りの気持ちを知ることができました。今日はデイサービスそらのみんなと動物園で交流することができました。この2日間学校では学べない体験や交流ができ良かったです。2日間学んだことを忘れずこれからの生活に活かしていきたいです。

屋嘉比璃子

(1日目)

親川さんの車イスを使ったり、お年寄りの疑似体験をとおしての話が面白くて、お年寄りの方や車イスの方の気持ちを少し知ることができました。本を読んで障がいのことを調べても体験によって実際に感じてみるのとでは見える世界や視点が全く違いました。ご飯を食べるのも、トイレに行くのも外へ出かけることさえもお年よりにとっては緊張することで難しいことを実感しました。お年よりや障がい者の目線にあわせて交流できるように心掛けていきたいです。「そら」の子ども達は元気で可愛かったです。1年前にボランティアしていた頃と生徒や教室は結構変わっていましたが、こどもたちが覚えてくれて嬉しかったです。明日の動物園楽しんでいきたいです。

(2日目)

1日目は親川さんの車イスを使ったり、お年寄りの疑似体験したりすることを通しての話が面白くて体が不自由なことの大変さと緊張を実感することができました。本を読んで障がいのことを調べても、体験によって実際に感じてみるのとでは見える世界や視点が全く違いました。とても貴重な時間でした。2日目は「そら」の子どもたちと仲よくなれて嬉しかったです。もっと遊んだり話したりしたかったの

で最後は胸が熱くなりました。大学受験に落ちたら会わせる顔がないのでこのサマートライアルの体験を心に留めて一生懸命勉強したいです。2日間、素敵な体験を本当に有り難うございました。

屋良千遥

(1日目)

今日学んだことは車イスの違いやバリアフリーとユニバーサルデザインの違いなど初めて知ることをたくさん学びました。その中で目が見えない方が助けてほしい時につえを上にあげるということを聞きもしそのような人がいたら声をかけ助けようと思いました。疑似体験では高齢者の方がどれだけ大変な思いをして日々を過ごしているのかわかりました。階段の上り下りやごはんを食べるときは本当に大変でした。普段、経験できないのでとても勉強になりました。車イスの体験では、声かけや相手を気づかうことが大切だと感じました。児童デイサービス「そら」では皆が明るく元気だったことが印象に残っています。明日の沖繩子どもの国では皆で楽しみたいです。

(2日目)

今日、児童デイサービスの「そら」と沖繩子どもの国でぞうやきりんなどたくさんの動物を見たりワンダーミュージアムで遊んでとても楽しかったし思い出になりました。この2日間で普段体験できないことができて勉強になりました。私は、将来作業療法士になりたいと思っているので今回学んだことを忘れず将来に活かしていきたいです。2日間ありがとうございました。

比嘉志乃

(1日目)

私は生まれたときから障害をもつことなく、不自由をしないで生活をするので、今日の体験講座は驚くことばかりでした。何よりも「障害者や高齢者の立場や目線になって物事を想像してみる。そして実際に身をもって高齢者の方の疑似体験をする。」という経験をさせてもらったときは、頭で想像している何倍もの面倒さと不便さに気付くことができました。“児童デイサービスそら”の児童さんたちに会う前は、どう接していいか、失礼な態度をとってしまわないかととても不安でしたがすぐげんきで笑顔がステキで、少しホッとすることができました。明日も1日この貴重な体験を、子どもたちと過ごしていきたいです。

(2日目)

今回私がこのサマートライアルツアーに参加して思ったことは、“気付くこと”の大切さ、そして難しさでした。今日1日児童デイサービスそらの子どもたちと遊ぶということで、ある程度の緊張をもって注意することを意識していたのに、車イス押すスピードがつい速くなってしまったり、耳が聞こえにくい子なのに、顔を見ないで普通の早さの話し方でしゃべってしまったり、と反省するところばかりでした。昨日の、高齢者の疑似体験においても実際に体験することで気付くことばかりでした。普段の学校の勉強では経験できないことばかりでした。今のこの時期だからこそ、このような貴重な経験ができて良かったと思います。2日間ありがとうございました。

濱比嘉祐二

(1日目)

今日1日を振り返ってとても充実していました。親川さんの講義では車イスを動かすときのタブーや視覚障がい者への接し方などを学びました。話のすべてに共通したと思ったことは、相手の立場になって思いやるということです。相手がこわがる事はしない、安心してもらえることをやるというのはとても大事だと思いました。児童デイサービスそらに子どもたちと交流もとても良い経験になりました。そらの職員の方や親川さんの手慣れた感じがあこがれました。明日も積極的にみんなと遊んで充実したサマートライアルにしたいです。

(2日目)

2日間のサマートライアルを終了して、1番強く感じたことは、相手の身になって考えるということです。高齢者に対しても白内障で目が見えにくくなったり、耳が聴こえにくくなったりと、若者にはあまり気持ちがわかりません。そこで高齢者体験や車イス体験を通して、どうやったら安心できるか、どうやったら恐怖を感じるのかを実感でき、これから高齢者・障害者の人と接する上で勉強になりました。また児童デイサービスそらの子どもたちと遊んでいても、職員の方たちの慣れた対応を見ても一人一人のそれぞれ持っている違った個性をしっかり理解してあげることが大切だと思いました。この2日間で自分自身の成長を感じられてとてもよかったです。